

施策評価管理シート

施策体系	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	1	地域産業の振興	担当部局名	部局長名
	施策	2	商工経済	産業部	杉本 一徳

1. 施策の基本方針 Plan

○ 地域産品の活用や農商工の連携による新事業の育成、地産地消など地域内経済の循環促進を図り、商業・サービス業の振興さらには地域経済の活性化を図ります。
 ○ 中小企業等に対する資金調達、経営指導、各種融資制度や補助金などの財源確保の支援を通し、商工業の振興を図ります。

2. 現状と課題 Plan

企業紹介冊子については、一度に掲載できる企業数が限られていることや制作の財源の確保が課題となっています。
 とれたて名張交流館での出荷生産者へのチャンスロスの減少を目指したデータ提供について、すべての出荷生産者が対応しきれていない現状があります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
買物や食事などの日常生活の利便性に満足していると感じる市民の割合（%）	目標	-	-	-	70.0	0.0%
	成果	60.7	63.9	59.3		
とれたて名張交流館取扱額（千円【延べ数】）	目標	-	-	-	501,000	82.4%
	成果	98,197	330,287	429,974		

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計画	実績及び主な成果
空き店舗活用をめざし、移住定住チャレンジ支援事業のブラッシュアップを行います。 地域産品のブランド化を引っ張っていく、加工所に対し側面的な支援を行います。 旧国津小学校校舎をワイナリー施設等に整備します。 とれたて名張交流館の出荷生産者への研修の実施により、販売促進力の向上を目指します。	新たに商店街の空き店舗の利活用メニューを加え、より目的を明確化した、若者移住定住チャレンジ支援事業は、採択0件の審査結果であったが、応募者全員が名張市で創業し、業界の活性化に寄与している。 農産物加工所の販路開拓の一助となるべく、各種商談会等の開催情報を収集し、整理したうえで情報提供を行った。 旧国津小学校校舎をワイナリー施設等に整備を行った。 法改正への対応を目指した「食品表示セミナー」を開催することで、とれたて名張交流館の出荷生産者が概要理解と正しい表示の基礎知識を取得し、店舗全体のレベルアップを図った。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

秋季の天候不順が祟り、葉物野菜をはじめとした、とれたて名張交流館の売りの一つである、生鮮野菜の品揃えが乏しく、店舗全体の売り上げの低下につながっていった。商品の品ぞろえの充実が今後の課題であり、取扱額を伸ばす妙薬と考える。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） Action

創業希望をもった若者が、自らのアイデアで創業していくことを目的にした、若者移住定住チャレンジ支援事業に農泊・民泊の項目を追加し、より名張の特性を生かした仕事づくりを応援していきます。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

ふるさと名物応援宣言など、地域資源を活用した取組や情報発信を積極的に行い、地域経済の活性化に努めること。